

JILPT 調査シリーズ

No.167

2017年3月

高等学校の進路指導と キャリアガイダンスの方法に 関する調査結果

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



高等学校の進路指導と キャリアガイダンスの方法に 関する調査結果

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

労働政策研究・研修機構では、2014年に全国の大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の就職課・キャリアセンターを対象として、キャリアガイダンスと就職支援の方法についての調査を行い、結果をとりまとめた。その中で、将来の仕事を決めて積極的に就職活動を行う学生とは対照的に、卒業後の進路を考えなくてはならない時期を迎えても就職活動に取り組めなかったり、将来の方向を決定できなかつたりする学生も少なくないという二極化の問題が示唆された。

近年、学校教育における早期からのキャリア教育の重要性が認識され、初等、中等教育課程においても生徒の職業意識の育成に向けた取組みがなされている。しかし、大学入試制度の多様化や少子化などを背景として、高等学校卒業後に大学等の高等教育課程へ進学する生徒は多くなり、生徒のなかには大学や短期大学等で学ぶ専門分野と自分自身の個性との関連や、進学の目的について深く考えずに進路を決めている者も一定数含まれることが考えられる。大学等で不適應を起こしたり、就職の際に困難に直面したりする学生の存在は、そこに至るまでのプロセスも含めて検討しなくてはならない課題である。

そこで、今回の調査では、高等教育課程から一つ手前の高等学校に調査対象を移し、進路指導とキャリアガイダンスの状況について明らかにすることを目的とした。なお、入試制度が多様化したとはいうものの、高等学校における進路指導では多くの場合、入試に向けた受験指導は避けることのできない重要な課題である。そこで、本研究の調査設計にあたっては、偏差値重視の受験指導という柱と、生徒の適性や個性を考慮する個性重視の進路指導という柱の2本立てで進路指導の中身を検討することとした。この枠組は1990年代初めに大学入試センターによって行われた高等学校の進学指導に関する調査でも用いられており、本書における報告では必要に応じてセンター調査との比較も行われる。

調査にご協力いただいた各学校の進路指導担当者の皆様に心からのお礼を申し上げますとともに、本書が高等学校の進路指導を検討するための一助となれば幸いである。

2017年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆章
室山 晴美	労働政策研究・研修機構 理事	第1～3、6～9章
深町 珠由	労働政策研究・研修機構 主任研究員	第4章
小菅 清香	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員	第5章

調査の企画・実施に関する研究会委員（上記以外）

氏名	所属
本間 啓二	日本体育大学 教授
松本 純平	労働政策研究・研修機構 特任研究員（2014年3月まで）
上市 貞満	労働政策研究・研修機構 統括研究員

目 次

第Ⅰ部 調査の概要

第1章 研究の問題・目的・方法	3
1. 問題・目的	3
2. 調査方法	8
3. 過去の関連研究	10
第2章 調査結果の概要	18
1. 進路指導の現状の分析（第4章）	18
2. 偏差値重視の進路指導に関する考え方と実践（第5章）	20
3. 個性尊重の進路指導に関する考え方と実践（第6章、第7章）	22
4. 進路指導における理念と課題（第8章）	24

第Ⅱ部 結果

第3章 回答校と回答者の属性	29
1. 回答校の基本属性	29
2. 回答者の属性	35
3. 大学入試センター調査との回答校の違いについて	39
第4章 学校の進路指導・キャリアガイダンスの実態と進路決定のプロセス	44
1. 学校の進路指導・キャリアガイダンスの実態	44
2. 生徒の進路決定のプロセス	49
3. 進路指導について教員が日頃困っていること	56
4. 小括	59
第5章 偏差値重視の進路指導に関する考え方と実践	62
1. 大学・短大等への進学指導	62
2. 学歴および学校歴への認識	67
3. 進学や就職先の選定に関する偏差値の考え方	68
4. 大学入試センター調査との比較	70
5. 学校種別、普通科における進学率ごとの比較	74
6. 小括	78

第6章 個性尊重の進路指導に関する考え方と実践	81
1. 進路指導における生徒の「適性把握」と「適性」に対する考え方	81
2. 進路指導における適性理解の指導について	83
3. 個性尊重の進路指導の実施に関するセンター調査と今回の調査の回答の比較	89
4. 学校種別にみた回答傾向の違い	91
5. 小括	95
第7章 生徒の適性評価の方法	97
1. 適性検査・キャリアガイダンスツールの利用状況	97
2. 検査やツールの活用について	100
3. 検査やツールの未実施について	105
4. 検査やツールの利用に関する学校種による違い	109
5. 小括	115
第8章 進路指導の理念と課題	118
1. 進路指導の理念に対する考え方	118
2. 進路指導の課題について	119
3. 学校種別にみた重視する理念・課題の違い	120
4. 進路指導の課題に関する自由記述	127
5. 小括	131
第9章 総括	133
1. 偏差値重視の進路指導と個性尊重の進路指導の考え方と実践	133
2. センター調査からの変化	135
3. 学校種による進路指導の違い	137
4. 高等学校の進路指導における課題	138
5. まとめ	139
付属資料	
1. 高等学校の進路指導に関する、ここ数年～現在に至るまでの課題（自由記述）	145
2. 調査票	151